

【 投薬 】

750 アポハイドローション20%の投与量について

《令和7年11月28日》

○ 取扱い

新医薬品として投与制限（令和6年5月31日まで）がある「アポハイドローション20%」の2本の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

アポハイドローション20%の投与については、保険上の取扱い[※]として2024年5月末日までは1回14日分を限度とされているが、1本の投与量では14日分に満たない。

以上のことから、当該医薬品の2本の算定は、原則として認められると判断した。

(※) 本剤の「用法及び用量」は「1日1回、就寝前に適量を両手掌全体に塗布」であり、添付文書の「用法及び用量に関する注意」に「1回の塗布量は、両手掌に対しポンプ5押し分を目安とする」と記載されている。また、国内第Ⅲ相比較試験等において、「本剤又はプラセボを両手掌部に1日1回（就寝前）5プッシュ（約500μL、オキシブチニン塩酸塩として約96mg）、4週間投与した。」旨記載がある。本剤1本の包装は4.5mL(4.32g)で、「有効成分1g中 日局オキシブチニン塩酸塩 200mg」であることから、200mg × 4.32 ÷ 約96mg = 約9日分